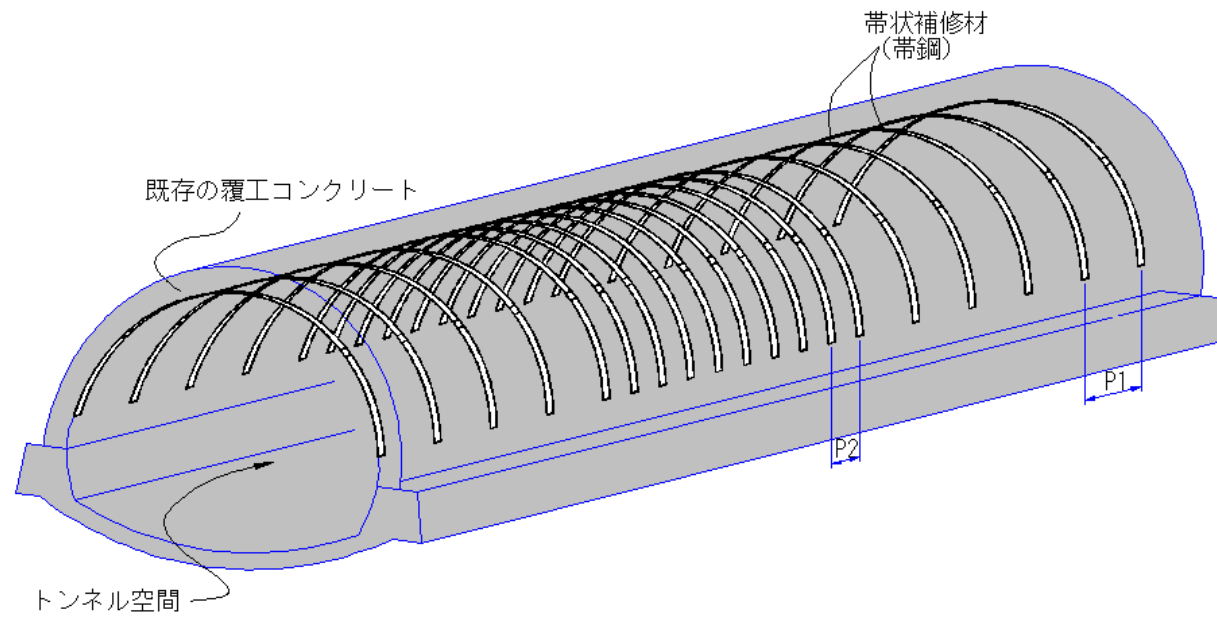


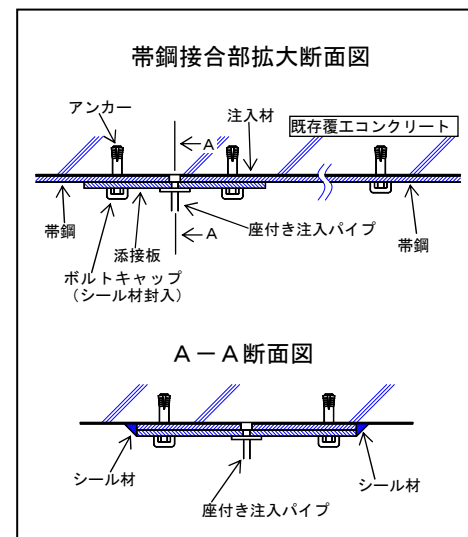
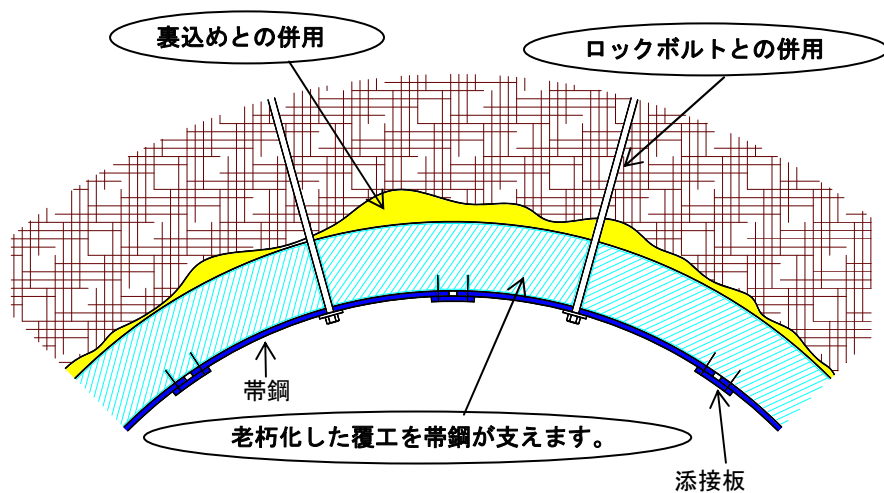
# 帯鋼板接着工による覆工補修工法 (特許工法)

本工法は、老朽化したトンネル覆工コンクリートを経済的且つ的確に補修出来る工法です。



## § 特徴 :

- ・ 所定長さの帯鋼を添接板を用いて現場で連結しながら、覆工内面に沿ってアンカー止め、注入し、鋼材の剛性で覆工を維持する工法です。
- ・ 帯鋼の設置ピッチ P1、P2 を調節するだけで、要求される補修効果を達成することができます。
- ・ コンパクト施工で、現場を選びません。
- ・ トンネルを供用したまま施工可能です。
- ・ 施工機械を必要としません。(搬送から施工まで人力施工可能です。)
- ・ 覆工全面を覆わないため、施工後の補修状況の確認、経年経過後の覆工変状観察を目視確認することができ、維持管理が容易です。
- ・ 材料費、施工費とも、他の在来補修工法に比して経済的です。
- ・ ロックボルトによる地山補強や、裏込めとの併用に適しており、より高い補修・補強効果が得られます。
- ・ H 型支保工のようにトンネル内空限界を狭めません。



## § 材料表

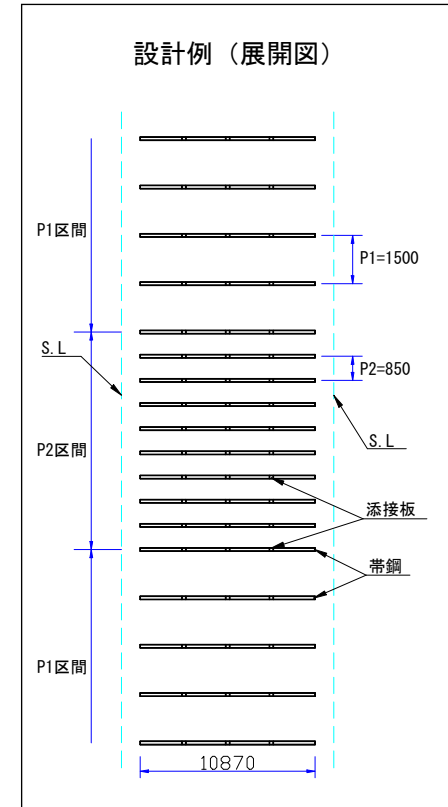
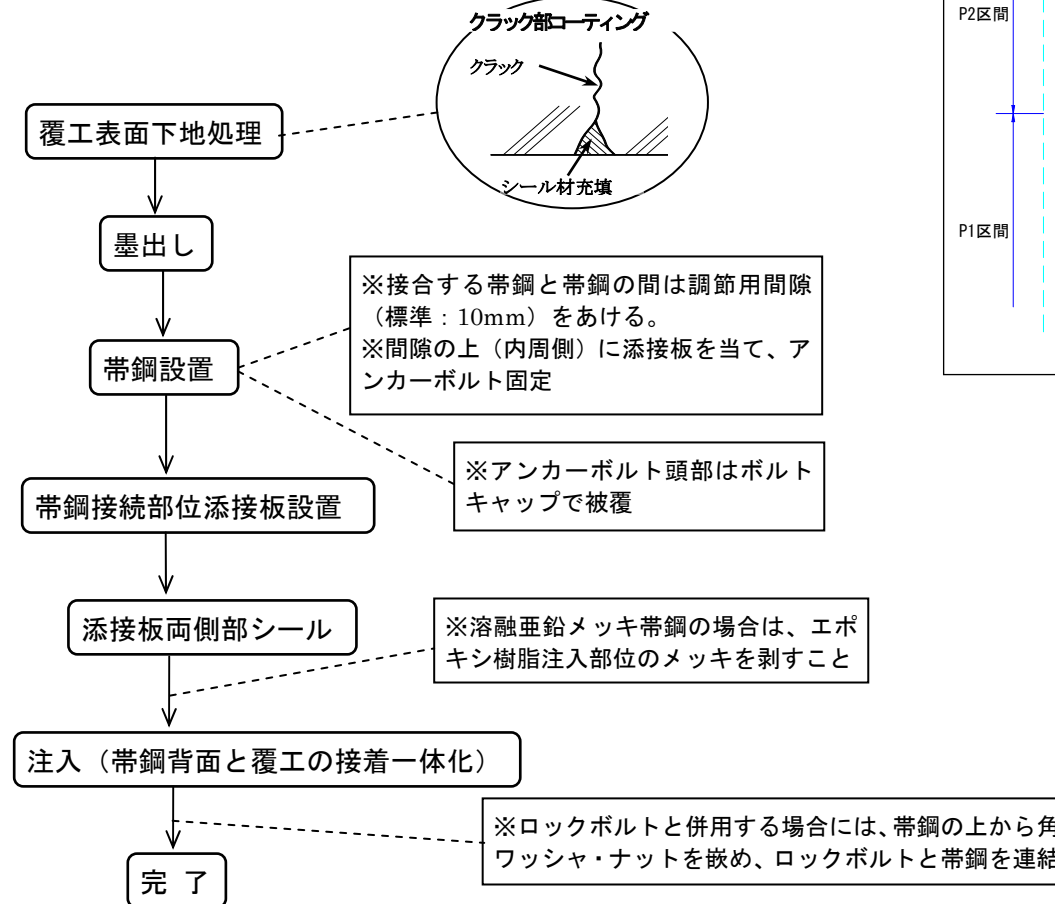
※周長 10.87m 当り補修材数量

名称	規格	数量	備考
帯鋼	W400×L2710×t4.5	4 本	(溶融亜鉛メッキ)
添接板	W400×L330×t4.5	3 本	(溶融亜鉛メッキ)
アンカーボルト	B1080	56 個	(溶融亜鉛メッキ)
ボルトキャップ	B10	56 個	シール材封入(溶融亜鉛メッキ)
座付き注入パイプ	φ10	19 個	
エア抜きパイプ		19 本	
シール材	(パテ状)エポキシ樹脂	2.25kg	SBK-1 シール
注入材	エポキシ樹脂	32.5kg	SBK-2 グラウト

※帯鋼に替えて、カーボン(炭素繊維)、FRP(繊維補強プラスチック)板材の採用も可。(特許第 3549504 号 2004.04.30)

※湿潤面やクラック部、ジャンカ部での仕様を可能と下特殊注入樹脂です。

## § 施工手順



# KFC 株式会社 ケー・エフ・シー

<http://www.kfc-net.co.jp/>

本工法に関する詳細問合せ先:

東京建設部 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビルB館 11 階 TEL: 03-6402-8271  
 大阪建設部 大阪市北区西天満 3-2-17 TEL: 06-6363-2501